

2023-24 国際ロータリー第2520地区 地区研修・協議会プログラム

日時 令和5年4月16日

場所 仙台育英学園高等学校 宮城野キャンパス

14:00 分科会

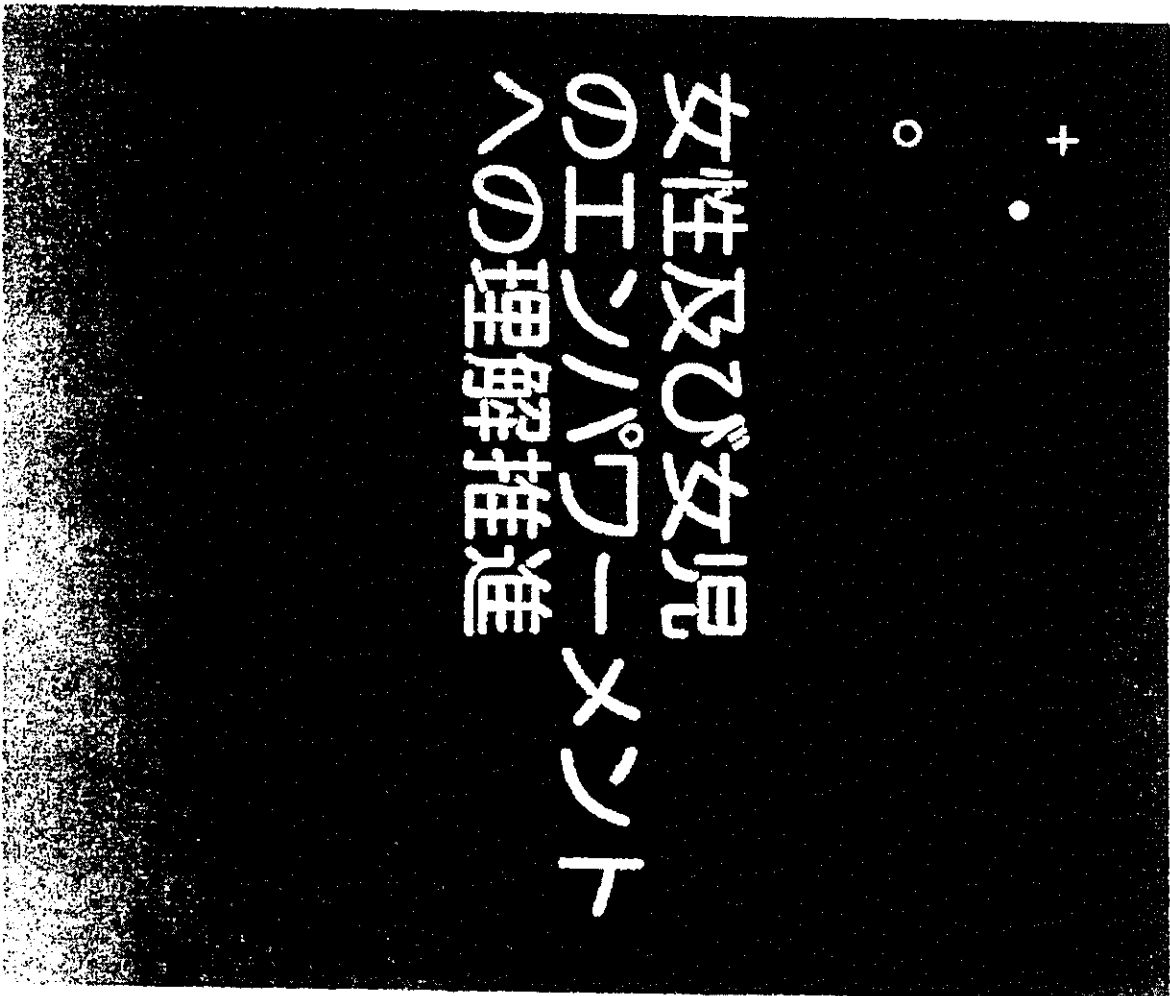
◎職業奉仕研修部会

1. 開会挨拶 時準雄職業奉仕委員長 5分
2. クラブ奉仕伊藤委員長からの基調メッセージ朗読 時委員長 15分
3. グループディスカッション 5グループへ分かれ協議 30分
 - ・テーマ 「各クラブ内での職業奉仕委員会の活動内容」
 - 「女子及び女性のエンパワーメントへの理解」
 - 「女性会員の増強状況」
4. 全体会での各グループ発表 20分
5. 地区職業委員会としての事業への提案 20分
5. 閉会挨拶 鈴木文夫副委員長

『女児の エンパワーメント』

☆ロータリーは世界中の少女が強く、十分な能力を身につけた女性へと成長できるように支援するために行動することを明確に表明する。

☆ロータリーのエンパワーメントは、手を差しのべる事だけではなく、それぞれが秘めている能力、才能を遮っているものを取り払い、組みと整理されている。



女性及び女児 のエンパワーマネジメント への理解推進

- 女性のエンパワーマネジメントに関する啓発活動を実施する
- 女性会員の増強と委員会活動への積極的参加推進

「ロータリーの目的に沿った奉仕活動の捉え方」

2023-24年、クラブの各奉仕委員長様にロータリーで言うところの奉仕活動について、お話申し上げます。テキストには「ロータリーの目的」と併せて、大凡の捉え方は記載しておきましたが、奉仕に対するロータリーの切り口を確り捉えないと、他団体と何処が違うのか説明出来無くなってしまいます。また、これを理解しておけば、会員拡大の呼びかけもやり易くなると思いますので奉仕の全体像について説明します。テキストの「ロータリーの目的」を見ながら聞いてください。

まずもってロータリー活動の原点である目的についておさらいします。目的は前段に「意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。」と書かれています。和訳に間違いは無いと思いますが、ニュアンスとしては、やや解かりにくいかもしれません。勿論、目的については、ロータリー誕生以来何度も議論を重ねて今日に至ってきました。ただし、多くの書籍に書かれている様に、ロータリー活動は当初から職業倫理が原点にあります。

ロータリーの誕生についてポールハリスを持ち出して歴史の話をするつもりはありませんが、当時の米国シカゴの街の様子を想像すれば何故に彼らが立ち上がったのかイメージが浮かぶはずで

す。南北戦争を終えて40年余りが経過した1900年初頭の米国はイギリスを追い越し世界有数の産業国へ着々と邁進していました。その強い産業力が、人々に幸せを実感させていたことと思います。

様々な産業が礎となって快適な社会を作るのは承知の通りですが、当時は農場でも工場でもヨーロッパからの移民による安い労働力と劣悪な作業環境が普通であり、しかもそこに甘い汁を求めるギャングが横行した時代です。因みに、ギャング映画でお馴染みの有名人アルカポネがシカゴに登場したのは1920年です。完全に重なるものではありませんが、当時の風景が想像できます。こうした環境の下、勇気と高い志を持った人たちが、社会に幸せを齎している職業こそが健全に役割を担うべきと考えたはずで

す。ロータリーの揺るぎない目的は、こうした環境下で育ったはずに間違いありません。しかし、目的を固めても具体的にどう展開して実を結ぶのか考えた際、自らも含めた人材育成と高潔な職場づくりと気付いたのでしょう。それは目的の前段に続き、4つの奨励と称して紹介しています。

この奨励に触れる前にロータリーで頻繁に用いる「奉仕」について補足しておきます。奉仕と言うとすぐ頭に浮かぶのは、ボランティアや人助けなどを指す様に感じますが、ロータリー

を紹介する書籍の多くにはそのように説明しておりません。ロータリーで言う「奉仕」は、原文でServiceと書かれています。日本人感覚でサービスと言うと、大半は奉仕どころか「タダにして」とか「おまけしろ」と連想してしまいます。一方皆さんはロータリーで言うところのサービスを多分無意識に使っています。レストランやホテルで「今日のサービスは良かったですよ」と使ったことがあるはずですが、この時のサービスは、「料理や接遇に満足しました」であって、「安くしてもらってありがとう」では無いはずですが、このサービスこそ、良い仕事を提供して役目を果たすということなのです。更に、奉仕というボランティアを想像しますが、Volunteerは有志や志願の意味合いです。余談ですが志願兵をVolunteer Soldierと言いますから、我々が描くイメージとはかなり違っているのではないのでしょうか。こうしたことを踏まえて「奉仕」を理解すれば的確に対応が出来ると思います。

さて、具体的な奨励に進みます。

1つ目は「知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること」と書かれています。これこそがクラブ奉仕であり、「仲間同士切磋琢磨して研鑽を図りましょう」ということです。高潔と言う言葉も度々登場しますが、リーダーにとって欠かしてはならない素養です。この素養を身に付けたリーダーの職場こそ、間違いなく社会に役立つとの思いからの展開です。仕組みは変わりましたが、長年会員選考において職業の重複を避けてきました。競合の無い者同士が集まる組織だからこそ意見交換すれば新たな発見が可能なのです。しかも、そこで得た気付きは各人違った土俵で発揮するので仲間を貶めるようなことはありません。クラブ奉仕の基本でもある卓話を引き受けた場合は、自分の経験を語り伝えることが求められます。そして、聞き手は仲間の経験に学びを得ることが必要です。この関係は、クラブ内ばかりでは無くメーカーと称して広く応用されます。これ以外にもロータリアンを対象とした多くの研修プログラムは同様の機能を持っています。何れもリーダーシップスキルなどを磨くために生み出したアイデアです。この様に、ロータリアンがロータリアンの為に尽くすのがクラブ奉仕なのです。

2つ目は「職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること」と書かれています。クラブ奉仕で培ったノウハウを自分の職場や所属する業界に浸透させることを掲げたものです。昔から商売の基本原理は、「良く・早く・安く」と言われてきました。例えば、本当に良いものを提供する努力をしているだろうか。などと掘り下げて見ることがポイントです。良いものを安く売るのは立派だと思えますが、安かろう悪かろうは間違っているはずですが、そのようにして、高潔なサービスとはどういったものなのか、自社は

もとより業界のためにも為すべきことが見えてくるのではないのでしょうか。社会から必要とされる会社を作り、職業の発展に尽くすことが職業奉仕です。因みに、業界と言えば大袈裟で重荷にも感じますが、ロータリアンの多くが業界の重責も担っていることを思えば、取組まなければならない立場にあるのです。

3つ目は「ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること」と書かれています。クラブ奉仕や職業奉仕で磨いた成果を、社会に向けて発揮しなければなりません。そうすることによって、社会を幸せにすることが出来ます。簡単に言えば職場や職業を通じて社会の為に「しっかりした仕事をしなさい。」という極当たり前のことです。これが社会奉仕であります。

最後、4つ目に「奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること」と書かれています。いよいよこの域にくと日本人感覚であるボランティアの登場です。自身や職場の果たすべき役割は当然出来ているものとして、広くロータリアンが職業と言う枠を超えて手を結び、社会に手を差し伸べる行動をしましょう。勿論、ここでは仲間の為に行う「クラブ奉仕」、職業に高潔を齎す「職業奉仕」、職業の成果を社会に発揮する「社会奉仕」を満足したうえでの「ボランティア奉仕（買って出る奉仕）」と言ったところでしょう。勿論、ボランティア奉仕は勝手に作った言葉ですが、ここには将来の活躍を願う青少年奉仕や地球規模で行動する国際奉仕などが関わってきます。

さて、これ等の整理が付いていないとどうなってしまうのでしょうか。皮肉っぽくなりますが、多分こんなことでは無いでしょうか。クラブの皆で地域の清掃活動をすれば「クラブ奉仕」。職場の皆を引き連れて清掃活動をすれば「職業奉仕」。だったら「社会奉仕」は何なのよ！。

今回の説明は、ロータリーの目的に端を発する奉仕活動を記載通りに分類して表現してみました。何度か話題にしたようにロータリーに造詣の深い諸先輩の執筆の多くが、職業倫理の醸成と発揮にあるという結論です。ロータリアンになれば、社会に役立ち、社会から求められる職場を作る為のプログラムが思いのままに手に入れます。しかも、そのネットワークは世界中に張り巡らされているのです。利用しない手はありません。世間では、儲け話をすると卑しい様に感ずる風潮がありますが、皆さん一人一人の職場・職業が社会を支えているのは事実です。ボランティア奉仕に偏った取組から、少し戻ってロータリーの掲げる奉仕活動を理解し進めてまいりましょう。

第一歩は、これまで行ってきたクラブの活動が、どれに該当しているのか振り返って見ることです。そのうえで欠けた部分を見直せば今後の委員会活動は、もっと解り易いものになるはずです。しかも、適切に実践出来れば他団体と違いもハッキリ

語れるようになること間違いありません。

－用語解説－

○エンパワーメント (empowerment)

「権限委譲」や「能力開花」と訳される。

人が持っている力を引き出し、湧き出させることを意味する。

個人や集団の潜在能力を発揮させる考え方。

教育や社会運動、市民活動など、様々な分野で使われており、広義の意味では「人間は一人ひとりが本来素晴らしい潜在能力を有している」という前提のもと、その力を能動的に湧き出させ、顕在化させることを意味する。

職業奉仕委員会 グループ協議

ーメモー

①各クラブ内での職業奉仕委員会活動内容

②女子及び女性のエンパワーメントへの理解

③女性会員の増強状況

令和5年4月14日

企画書

地区 職業奉仕委員会
委員長 時 準雄2520地区職業奉仕委員会
2023-24 事業提案

- 事業名 永年勤続従業員表彰（女性従業員を対象として）
- 名称 2520地区ロータリークラブ
リスペクト顕彰
- 事業内容：2520地区内77クラブから所属会員の企業及び事業団体、組織内から現社員・職員（従業員）で永年に亘って企業、組織を支えて来られた方々を地区大会に於いて壇上にて表彰する。特に2023-24年度は「女兒及び女性のエンパワーメント」に焦点を当てる為にも女性従業員にスポットを当てて表彰する。
名称に付いては企業倫理の確立の根底には経営者と各従業員との深い尊敬（リスペクト）の上に成り立つものであり、それは商品にも消費者にも底通する基本である、との思いから「リスペクト顕彰」とする。
- 応募方法：2023年10月に地区内クラブに表彰趣意書を送付し、12月末までに推薦いただく。2024年1月に選考委員会を開催。（ガバナー月信内に趣意書等の掲載依頼）
- 募集人数：各クラブより2～3名。
- 推薦基準：従事（勤続）年数。
企業・組織への特別な貢献、功績が認められること。
- 表彰者：10名
表彰状と記念品
- 事業資金：職業奉仕委員会活動費内で充当する。
- 選考委員：森川昭正ガバナーエレクト、天沼久純ガバナー、鈴木俊一
パストガバナー、地区職業奉仕委員、その他若干名。